

企業インタビュー

株式会社デイスコ

学生は大学生生活で多くのことを経験し、学び、いずれば社会に出る。しかし、自分が将来、一人の社会人として働いている姿を想像できる学生は少ないのではないだろうか。また、就職活動に望むためには普段からどんな準備をしていけば良いのだろうか。学生が関心のある就職について我々は株式会社デイスコ新卒メデア開発部の佐川直哉さんに話を伺った。



取材に応じていただいた佐川直哉さん

普段実行されている、仮説を立てて検証し、答えを導き出す力です。

面接の時の心構え、注意点を教えてください。

さまざまな分野において選抜肢があると考えられます。Q 理系の学生が文系就職を考えた時の注意点を教えてください。

A 一般的に、理系は文系に比べてコミュニケーション能力に欠けると評価されがちです。しかし、それはコミュニケーション能力に欠けているのではなく口下手な人が多い傾向にあると認識しましょう。面接時にあえて文系の人のように振る舞おうとする必要はなく、嘘をつかずにありのままの自分をアピールすることとがとて大切です。そして、大学入学の段階で理系を選択した学生がなぜ文系就職を考えたのか、その変化の根拠を面接官に伝えましょう。例えば、自分は理系志向だったが、大学で学ぼうちに自分の能力は文系職で生かせると感じた、というようなポジティブな変化です。

今企業は、物事の筋道を立てて戦略を考え、成果を上げられる人材を強く求めています。まさしく皆さんが

Q 理科大で学んだことを生かす就職について教えてください。

A 学生の皆さんが理科大に入学した動機を思い出してみましょう。理科大を選択した理由と将来の就職が関連づけられるかもしれません。その上で選んだ専攻学問を生かす就職を考えるならば、学部卒程度の知識量では足りない場合もあるのです。大学院に進む必要があるかもしれません。一方で皆さんに備わっている理系が持つロジカルな思考を生かした就職を考えるならば、

う、準備しましょう。また、全く専攻とは関係なくても興味のあるインターンシップに参加することも別の選抜肢です。インターンシップの利点は実際に企業の雰囲気を知り、職場の人と対話できることです。理系の学生は学校にいる時間が長いので積極的に参加をおすすめします。

Q 大学生活で取り組むべきことはありますか。

A アルバイトやサークルなど学業以外に経験を積むことはもちろん大切ですが、常に変化を求めてほしいですね。「継続は力なり」とありますが、漫然と過ごすのではなくより良い方法や効率化を追求していただきたいです。例えばアルバイト先でも学生目線ではなくその企業の経営に携わること、社員の視点を持つて働いてみるなどです。もちろん皆さんにとっては学問、研究が本分なので、それに最も力を入れてもらいたいです。それ以外の時間になぜ自分は何をやるのか、そこから何をやるのか、何をしたいのかなど常に考えながら一生懸命取り組んでほしいです。

また、普段から物事を考える時はポジティブに捉えましょう。本人の気持ち次第で状況は変わります。そして、色々な人との対話を試みましょう。違う目標や価値観を持つ人と話すことはこれからの財産に必ずなります。つまり人間力の育成に役立つのです。

Q 社会に出て必要な能力は何ですか。

A 一つはやはりタイムマネジメント能力です。企業社会では限られた時間の中で最大の成果を出せるよう常に取り組んでいるからです。もう一つはコミュニケーション能力です。仕事をすすめる上では職場の同僚や取引先など、様々な方との利害関係を一致させ、仕事の成果の最大化を図る必要があります。社会では必ずしも自分のやりたい仕事や得意な仕事ができるとは限りません。どんな状況でも、互いに良いところを引き出し合えるような、コミュニケーション能力が必要なのです。

Q 最後に学生に一言お願いします。

A 大学3年生だけでなく、1、2年生の皆さんにも就職について考えてもらいたいと思います。そして就活をネガティブに捉えず、社会で活躍する自分をイメージしていただくことが大切です。働くことは自分たちの人生を豊かにする行為です。働いたことで得た対価をより自分に投資できるように、社会に出ることを楽しみにしてくださいね。

OGインタビュー

「暴君ハバネロ」の開発者、篠原奈央さん

就職活動を控えている現3年生及び修士1年生は次第に働くことについて深く考える時期になっているのではないだろうか。2001年に本学の工学部第一部工業化学科を卒業した篠原奈央さんは、学部卒業後株式会社東ハトに入社し、入社3年目にして誰もが一度は食べたことがあるだろう旨辛スナック菓子「暴君ハバネロ」の開発に携わったという。他にも、多くの東ハトの商品開発に携わっており、現在ではマーケティング本部の中央研究所に所属し、日々新しい商品を探求し続けている。今回はそんなお菓子開発の現場で活躍されている女性に話を伺った。

Q 東ハトに入社した理由を教えてください。

A 就職活動をする時点で、食品の商品開発に携わりたいという目標がありました。その中で製菓会社を選んだのは、自分の創った商品がコンビニ、スーパーなどの皆様が頻りに足を運ぶ場所に置かれる機会が多く、多くの人に見てもらえると多分嬉しいですね。また、東ハトという会社は他の製菓会社よりもユニークな商品を作っているイメージがありました。私の人と違っていた仕事してみたいという気持ちと会社の方針が合致しているかと思ひ、この会社を選びました。

Q 研究職には大学院卒の人だけでなく、学部卒でも就けるものなのでしょうか。

A 業界や研究内容によると思いますが学部卒でも研究職に就くことはできると思っています。私は学部卒ですが幸運にも入社して2年目で研究職に就くことができました。私は会社に入ってから商品開発の部署に所属していましたが、実際の業務は商品開発の仕事ではありませんでした。それでも商品開発の仕事をするには商品開発の経験が不可欠です。最初は商品開発の経験がなかったのですが、入社してからは商品開発の経験が豊富になりました。商品開発の経験が豊富になると、商品開発の面で言えば、新しい商品を作る機械を購入しようというプレゼンテーションを行い設備の導入をしたり、自分から立案した新しいお菓子を商品化したりすることができました。日頃からたくさんチャレンジができて今は本当に楽しいです。

Q 社会に出て苦労したことありますか。

A コミュニケーションの取り方や仕事に対する考え方などで学生の頃とは違った感覚で見なければならぬと感じることが多くありました。驚いて対応に苦労しました。また、会社の独自のルールなどもありそれを理解して会社の雰囲気慣れるのには時間がかかり大変でした。

Q 社会に出て喜びややりがいを感じるのにはどのような時ですか。

A 学生のときにできなかった経験や課題をたくさんこなしてきていることだと思います。暴君ハバネロというお菓子の開発をきっかけにしてテレビ出演や雑誌の連載をする経験ができました。勉強は苦手ですが、興味を持って取り組むとすぐに取っ手かかってくる感じがします。

Q 社会に出て必要なのは何か。

A 一つはやはりタイムマネジメント能力です。企業社会では限られた時間の中で最大の成果を出せるよう常に取り組んでいるからです。もう一つはコミュニケーション能力です。仕事をすすめる上では職場の同僚や取引先など、様々な方との利害関係を一致させ、仕事の成果の最大化を図る必要があります。社会では必ずしも自分のやりたい仕事や得意な仕事ができるとは限りません。どんな状況でも、互いに良いところを引き出し合えるような、コミュニケーション能力が必要なのです。

の業務は商品開発の仕事ではありませんでした。それでも商品開発の仕事をするには商品開発の経験が不可欠です。最初は商品開発の経験がなかったのですが、入社してからは商品開発の経験が豊富になりました。商品開発の経験が豊富になると、商品開発の面で言えば、新しい商品を作る機械を購入しようというプレゼンテーションを行い設備の導入をしたり、自分から立案した新しいお菓子を商品化したりすることができました。日頃からたくさんチャレンジができて今は本当に楽しいです。

Q 暴君ハバネロ誕生のきっかけを教えてください。

A 最初は当時ロングセラー商品として売場と並んで売れたいという意向を伝え続けた結果、入社2年目で開発の仕事をするチャンスがもらい今に至っています。会社では、明確な意思を持ち、その意思を具現化して仕事に励むことができる人に率先して新しいミッションを任せられる傾向があります。採用や会社に入ってから業務を割り振る中で学歴は一つの指標になりますが、学歴だけで評価をしないという方針があり、その業務に就かせたりはしないと思います。

Q 社会に出て苦労したことありますか。

A コミュニケーションの取り方や仕事に対する考え方などで学生の頃とは違った感覚で見なければならぬと感じることが多くありました。驚いて対応に苦労しました。また、会社の独自のルールなどもありそれを理解して会社の雰囲気慣れるのには時間がかかり大変でした。

Q 社会に出て喜びややりがいを感じるのにはどのような時ですか。

A 学生のときにできなかった経験や課題をたくさんこなしてきていることだと思います。暴君ハバネロというお菓子の開発をきっかけにしてテレビ出演や雑誌の連載をする経験ができました。勉強は苦手ですが、興味を持って取り組むとすぐに取っ手かかってくる感じがします。

Q 社会に出て必要なのは何か。

A 一つはやはりタイムマネジメント能力です。企業社会では限られた時間の中で最大の成果を出せるよう常に取り組んでいるからです。もう一つはコミュニケーション能力です。仕事をすすめる上では職場の同僚や取引先など、様々な方との利害関係を一致させ、仕事の成果の最大化を図る必要があります。社会では必ずしも自分のやりたい仕事や得意な仕事ができるとは限りません。どんな状況でも、互いに良いところを引き出し合えるような、コミュニケーション能力が必要なのです。

Q 最後に学生に一言お願いします。

A 大学3年生だけでなく、1、2年生の皆さんにも就職について考えてもらいたいと思います。そして就活をネガティブに捉えず、社会で活躍する自分をイメージしていただくことが大切です。働くことは自分たちの人生を豊かにする行為です。働いたことで得た対価をより自分に投資できるように、社会に出ることを楽しみにしてくださいね。

Q 社会に出て必要なのは何か。

A 一つはやはりタイムマネジメント能力です。企業社会では限られた時間の中で最大の成果を出せるよう常に取り組んでいるからです。もう一つはコミュニケーション能力です。仕事をすすめる上では職場の同僚や取引先など、様々な方との利害関係を一致させ、仕事の成果の最大化を図る必要があります。社会では必ずしも自分のやりたい仕事や得意な仕事ができるとは限りません。どんな状況でも、互いに良いところを引き出し合えるような、コミュニケーション能力が必要なのです。

も仕事をする上でプラスになります。時間に余裕のある学生時代にたくさん経験をしておくことは大切だと思います。

Q 会社が求めているのはどのような人材ですか。

A 一緒に働きたいと思える方がよいですね。考えが前向きな方、とても印象が良いです。会社の中で仕事をしていくと自分にとって良いと思うこともあればそう思えないこともあり、時には自分の意向が伝わらずに悶々とした気持ちになることもあります。そういう状況に置かれたときに悲観せずに問題解決に向けて前向きに考えを整理して進めるよう努力する姿勢がある社員には会社は必ずサポートをしてあげたいと思います。そして、働くことに対して目標があると良いと思います。目標といたっても働くことの位置づけは人によって千差万別なので、大きなものではなくても良いと思います。毎日なんでもとなく働いている人より目標を持って働く人の方が仕事にメリハリがあり、成果を上げられる傾向があります。会社では結果をしっかりと出せる人材を日常的に求めています。

Q 社会に出て必要なのは何か。

A コミュニケーションの取り方や仕事に対する考え方などで学生の頃とは違った感覚で見なければならぬと感じることが多くありました。驚いて対応に苦労しました。また、会社の独自のルールなどもありそれを理解して会社の雰囲気慣れるのには時間がかかり大変でした。

Q 社会に出て喜びややりがいを感じるのにはどのような時ですか。

A 学生のときにできなかった経験や課題をたくさんこなしてきていることだと思います。暴君ハバネロというお菓子の開発をきっかけにしてテレビ出演や雑誌の連載をする経験ができました。勉強は苦手ですが、興味を持って取り組むとすぐに取っ手かかってくる感じがします。

Q 社会に出て必要なのは何か。

A 一つはやはりタイムマネジメント能力です。企業社会では限られた時間の中で最大の成果を出せるよう常に取り組んでいるからです。もう一つはコミュニケーション能力です。仕事をすすめる上では職場の同僚や取引先など、様々な方との利害関係を一致させ、仕事の成果の最大化を図る必要があります。社会では必ずしも自分のやりたい仕事や得意な仕事ができるとは限りません。どんな状況でも、互いに良いところを引き出し合えるような、コミュニケーション能力が必要なのです。

Q 最後に学生に一言お願いします。

A 大学3年生だけでなく、1、2年生の皆さんにも就職について考えてもらいたいと思います。そして就活をネガティブに捉えず、社会で活躍する自分をイメージしていただくことが大切です。働くことは自分たちの人生を豊かにする行為です。働いたことで得た対価をより自分に投資できるように、社会に出ることを楽しみにしてくださいね。

Q 社会に出て必要なのは何か。

A 一つはやはりタイムマネジメント能力です。企業社会では限られた時間の中で最大の成果を出せるよう常に取り組んでいるからです。もう一つはコミュニケーション能力です。仕事をすすめる上では職場の同僚や取引先など、様々な方との利害関係を一致させ、仕事の成果の最大化を図る必要があります。社会では必ずしも自分のやりたい仕事や得意な仕事ができるとは限りません。どんな状況でも、互いに良いところを引き出し合えるような、コミュニケーション能力が必要なのです。



取材に応じていただいた篠原奈央さん